

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月14日

**【四半期会計期間】** 第75期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** スーパーバッグ株式会社

**【英訳名】** Superbag Company, Limited

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 福田 吉 弘

**【本店の所在の場所】** 東京都豊島区西池袋5丁目18番11号

**【電話番号】** (03)3987 - 9201

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 吉 田 精 一

**【最寄りの連絡場所】** 埼玉県所沢市若狭1丁目2602番地

**【電話番号】** (04)2938 - 1244

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 吉 田 精 一

**【縦覧に供する場所】** スーパーバッグ株式会社 大阪支店  
(門真市北岸和田2丁目2番34号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第74期	第75期	第74期
		第2四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間	第74期
		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	16,192,446	15,908,781	33,345,169
経常利益又は経常損失( )	(千円)	93,335	175,161	449,659
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( )	(千円)	39,049	183,567	247,134
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	65,897	186,033	173,677
純資産額	(千円)	3,229,320	3,175,609	3,466,432
総資産額	(千円)	17,678,474	17,488,210	17,386,624
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( )	(円)	2.53	11.95	16.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	17.8	17.7	19.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	308,793	280,769	206,054
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,022	317,293	333,179
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	333,071	666,837	414,005
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,178,724	1,662,359	1,593,996

回次	会計期間	第74期	第75期
		第2四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間
		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	3.80	8.15

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第74期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第74期第2四半期連結累計期間及び第74期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、第75期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。



## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に持ち直しの傾向にあるものの、夏場の電力不足や原発事故対応の長期化、更なる円高の進行や株価低迷などにより企業収益への影響が懸念され、先行き不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く経営環境も、個人消費に穏やかな回復傾向が見られる一方、原材料市況の上昇傾向などから、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、安定した収益の確保に向け、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減による「売上と利益の確保」、「品質および生産効率の向上」などの課題に重点的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,908百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業損失180百万円（前年同四半期は営業利益108百万円）、経常損失175百万円（前年同四半期は経常利益93百万円）、投資有価証券評価損78百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純損失183百万円（前年同四半期は四半期純利益39百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用452百万円を配分する前の金額であります。

#### 「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の角底紙袋や手提袋の販売数量の減少により、売上高は前年同四半期に比べ211百万円減少して5,771百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は製造固定費の上昇に伴う生産利益の減少などにより、前年同四半期に比べ141百万円減少して174百万円となりました。

#### 「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量の増加により、売上高は前年同四半期に比べ4百万円増加して6,111百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格の上昇に見合った売価修正ができず、前年同四半期に比べ125百万円減少して25百万円となりました。

#### 「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、主要なお客様である大手小売業界における経費削減が継続している影響などから、売上高は前年同四半期に比べ76百万円減少して4,025百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高の減少による粗利益の減少を仕入商品の利益率改善や販売管理費の削減で補えず、前年同四半期に比べ11百万円減少して72百万円となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円増加して17,488百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が67百万円増加、たな卸資産が170百万円増加、繰延税金資産が98百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が204百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ139百万円増加の11,599百万円となりました。固定資産は、設備投資により有形固定資産が211百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費187百万円、無形固定資産の減価償却費54百万円により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ37百万円減少の5,888百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ392百万円増加して14,312百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が808百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が348百万円減少、設備関係支払手形が117百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ290百万円減少して3,175百万円となりました。これは、四半期純損失計上により183百万円減少、剰余金の配当で92百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.4%から17.7%になりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

##### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期より28百万円多く、支出が収入を280百万円上回る状況となりました。これは、減価償却費245百万円、売上債権の減少204百万円などにより資金が増加した一方、税金等調整前四半期純損失254百万円、たな卸資産の増加170百万円、仕入債務の減少348百万円により資金が減少したことなどによります。

##### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期より318百万円多く、支出が収入を317百万円上回る状況となりました。これは、投資有価証券及び固定資産の取得による支出317百万円により資金が減少したことなどによります。

##### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は、前年同四半期より333百万円多い666百万円となりました。これは、借入金純額で803百万円増加したことにより資金が増加した一方、リース債務の返済による支出31百万円、配当金の支払額90百万円により資金が減少したことなどによります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、1,662百万円と前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は53百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営者の問題認識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、電力の供給問題や円高・株安、欧州の財政不安など景気の先行きは依然として不透明であり、当社を取り巻く経営環境も、原材料価格の上昇などから厳しい状況が続くものと認識しております。

このような状況のなか、当社グループは、安定した収益の確保に向け、「売上と利益の確保」、「生産利益拡大のための生産性向上」、「徹底したコスト削減」、「品質向上に向けた継続的かつ地道な取組み」などに重点的に取り組むとともに、中国での紙袋製造・販売体制の確立とも併せ、さらなる業績の向上と企業の長期発展を目指してまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	57,630,000
計	57,630,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	16,861,544	16,861,544	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株であります。
計	16,861,544	16,861,544		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		16,861,544		1,374,755		849,898

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
福田産業株式会社	東京都千代田区外神田1丁目11-5	4,467	26.50
王子製紙株式会社	東京都中央区銀座4丁目7-5	683	4.06
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1丁目1-5	680	4.03
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1-1	584	3.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	506	3.00
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26-1	380	2.25
福田恵充	東京都渋谷区	367	2.18
福田吉弘	東京都豊島区	264	1.57
伊藤忠紙パルプ株式会社	東京都中央区日本橋本町2丁目7-1	244	1.45
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4-5	190	1.13
計		8,369	49.64

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式1,540千株(9.14%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,540,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,131,000	15,131	
単元未満株式	普通株式 190,544		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	16,861,544		
総株主の議決権		15,131	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式628株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) スーパーバッグ株式会社	東京都豊島区西池袋 5 18 11	1,540,000		1,540,000	9.14
計		1,540,000		1,540,000	9.14



## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (品質管理室管掌)	取締役 (鶴ヶ島工場長)	中島 孝	平成23年 7月 1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,631,659	1,699,627
受取手形及び売掛金	6,401,231	6,196,766
商品及び製品	2,158,514	2,206,058
仕掛品	353,546	358,266
原材料及び貯蔵品	375,612	494,101
繰延税金資産	112,176	210,863
その他	449,057	446,716
貸倒引当金	21,363	12,426
流動資産合計	11,460,432	11,599,974
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,039,185	6,057,172
減価償却累計額	4,352,980	4,426,688
建物及び構築物(純額)	1,686,205	1,630,484
機械装置及び運搬具	9,976,968	10,164,652
減価償却累計額	9,152,846	9,263,449
機械装置及び運搬具(純額)	824,122	901,202
土地	1,123,398	1,123,398
リース資産	35,916	44,396
減価償却累計額	13,534	17,844
リース資産(純額)	22,381	26,552
建設仮勘定	12,387	3,453
その他	753,669	766,079
減価償却累計額	696,724	704,686
その他(純額)	56,944	61,392
有形固定資産合計	3,725,439	3,746,483
<b>無形固定資産</b>		
電話加入権	15,691	15,691
リース資産	174,408	157,290
その他	236,968	214,522
無形固定資産合計	427,068	387,504
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	936,364	942,824
破産更生債権等	11,398	11,398
事業保険金	131,381	134,486
差入保証金	162,823	161,947
繰延税金資産	325,332	299,428
その他	226,380	224,440
貸倒引当金	19,998	20,278
投資その他の資産合計	1,773,682	1,754,248
<b>固定資産合計</b>	<b>5,926,191</b>	<b>5,888,236</b>
<b>資産合計</b>	<b>17,386,624</b>	<b>17,488,210</b>

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,373,909	7,025,711
短期借入金	2,402,322	2,387,618
リース債務	60,618	64,610
未払金	476,032	530,671
未払法人税等	49,495	20,019
未払消費税等	19,523	21,183
賞与引当金	231,479	245,680
災害損失引当金	970	160
設備関係支払手形	160,281	42,858
設備関係未払金	27,196	12,309
その他	178,718	190,954
流動負債合計	10,980,547	10,541,778
固定負債		
長期借入金	1,942,891	2,765,901
リース債務	75,949	58,208
長期設備関係未払金	790	395
退職給付引当金	627,756	648,600
役員退職慰労引当金	287,947	293,408
環境対策引当金	4,308	4,308
固定負債合計	2,939,644	3,770,821
負債合計	13,920,191	14,312,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374,755	1,374,755
資本剰余金	1,450,226	1,450,226
利益剰余金	943,888	670,294
自己株式	241,800	256,563
株主資本合計	3,527,069	3,238,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,107	3,813
繰延ヘッジ損益	28,457	19,650
為替換算調整勘定	125,181	125,591
その他の包括利益累計額合計	146,831	141,428
少数株主持分	86,194	78,324
純資産合計	3,466,432	3,175,609
負債純資産合計	17,386,624	17,488,210

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,192,446	15,908,781
売上原価	13,501,973	13,524,301
売上総利益	2,690,473	2,384,480
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,238,550	1,228,466
給料及び手当	718,782	707,435
賞与引当金繰入額	121,048	119,141
退職給付引当金繰入額	51,376	48,807
賃借料	96,475	92,371
旅費及び交通費	57,252	55,630
その他の経費	298,788	313,224
販売費及び一般管理費合計	2,582,271	2,565,076
営業利益又は営業損失( )	108,203	180,595
営業外収益		
受取利息	91	46
受取配当金	19,533	18,008
貸倒引当金戻入額	-	9,484
持分法による投資利益	10,002	10,939
為替差益	8,063	6,356
受取賃貸料	14,677	14,849
作業くず売却益	1,320	1,584
雑収入	6,893	11,317
営業外収益合計	60,579	72,587
営業外費用		
支払利息	60,725	54,371
その他	14,721	12,781
営業外費用合計	75,446	67,153
経常利益又は経常損失( )	93,335	175,161
特別利益		
貸倒引当金戻入額	557	-
受取保険金	9,375	-
特別利益合計	9,932	-
特別損失		
前期損益修正損	363	-
固定資産除却損	14,387	57
投資有価証券評価損	-	78,824
特別損失合計	14,750	78,881
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	88,518	254,043
法人税、住民税及び事業税	39,395	13,436
法人税等調整額	9,982	75,605
法人税等合計	49,377	62,168
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	39,141	191,874
少数株主利益又は少数株主損失( )	92	8,307
四半期純利益又は四半期純損失( )	39,049	183,567

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	39,141	191,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,828	53,921
繰延ヘッジ損益	16,484	48,107
為替換算調整勘定	15,416	1,781
持分法適用会社に対する持分相当額	308	1,754
その他の包括利益合計	105,038	5,840
四半期包括利益	65,897	186,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,777	178,164
少数株主に係る四半期包括利益	2,119	7,869

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	88,518	254,043
減価償却費	229,577	245,796
貸倒引当金の増減額( は減少)	2,699	8,656
賞与引当金の増減額( は減少)	888	14,201
退職給付引当金の増減額( は減少)	17,051	26,305
未払債務の増減額( は減少)	965	55,643
未収入金の増減額( は増加)	9,000	9,486
受取利息及び受取配当金	19,624	18,054
支払利息	60,725	54,371
為替差損益( は益)	8,063	6,356
持分法による投資損益( は益)	10,002	10,939
固定資産除却損	14,387	57
投資有価証券評価損益( は益)	-	78,824
売上債権の増減額( は増加)	133,537	204,465
たな卸資産の増減額( は増加)	350,866	170,754
仕入債務の増減額( は減少)	49,962	348,197
未払消費税等の増減額( は減少)	68,336	32,982
その他	51,603	106,867
小計	22,815	220,708
利息及び配当金の受取額	44,938	39,539
利息の支払額	58,290	57,705
法人税等の支払額	272,625	41,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,793	280,769
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	8,235	8,175
固定資産の取得による支出	109,530	309,040
貸付けによる支出	-	1,000
貸付金の回収による収入	100	140
その他	118,686	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,022	317,293
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600,096	692,466
短期借入金の返済による支出	365,755	378,073
長期借入れによる収入	1,200,000	1,470,000
長期借入金の返済による支出	982,910	980,968
自己株式の取得による支出	247	14,762
リース債務の返済による支出	27,385	31,095
配当金の支払額	90,729	90,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	333,071	666,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,513	410
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	11,786	68,362
現金及び現金同等物の期首残高	2,166,938	1,593,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,178,724	1,662,359

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、当該企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	2,227,390千円	1,699,627千円
預入期間が3か月を超える定期預金	48,666 "	37,268 "
現金及び現金同等物	2,178,724千円	1,662,359千円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	92,684	6	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	92,657	6	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,983,586	6,106,979	4,101,881	16,192,446		16,192,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	5,983,586	6,106,979	4,101,881	16,192,446		16,192,446
セグメント利益	316,561	150,403	84,246	551,210	443,007	108,203

(注) 1 セグメント利益の調整額 443,007千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,771,731	6,111,405	4,025,646	15,908,781		15,908,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	5,771,731	6,111,405	4,025,646	15,908,781		15,908,781
セグメント利益	174,705	25,101	72,388	272,194	452,790	180,595

(注) 1 セグメント利益の調整額 452,790千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

為替予約取引及び金利スワップ取引を行っておりますが、いずれもヘッジ会計を適用しておりますので注記の対象から除いております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	2円53銭	11円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	39,049	183,567
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	39,049	183,567
普通株式の期中平均株式数(株)	15,446,326	15,362,053

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

スーパーバッグ株式会社  
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 君和田 安二 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 橋元 秀行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているスーパーバッグ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、スーパーバッグ株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。